

すそみろく

筑波山麓地域情報紙
VOL.39 2018 秋冬号



活動紹介
2018年秋冬の
グリーン・ツーリズム
地域の情報

巻頭特集
竹細作家
橋本千菜美さん

写真 制作中のかご・ざる 「籠目」「ござ目」「網代」

橋本さんは、材料の竹を手に入れやすい筑波山麓に工房を構えて早三年、日々製作に励んでいる。山から竹を伐り出し、細く引きヒゴを作る。竹細工の製作過程には力仕事が多く、職人も男性がほとんど。農業に使われる竹のカゴは丈夫である事が良しとされて無骨になりがちの中で、橋本さんが手掛けた現在では、荒っぽい使い方に耐え

竹は様々な道具となつて日本人の暮らしを支えてきた。日常生活や農作業につかう箆や籠は、丈夫でありながら編目の美しさなど繊細な面もある。その両方に魅力を感じ、自らも作り手となった橋本千菜美さんにインタビューした。

京都府出身の橋本さんは、日本でも珍しい美術工芸を学べる府立高校を卒業、その後筑波大学で芸術（彫刻）を専攻したが、ある日骨董品の竹細工と出会い一目ぼれ、作り手を目指そうと決意した。知人のついで茨城県笠間市の竹細工職人の鈴木繁さんの元で学べることになる。鈴木さんは茨城県でも数少ない職人の一人で、「昔は職人が各家を周り、その場で竹林から竹を伐り出して、客の要望に応じた籠を作ることも多かったとか。そんな話を聞きながら、昔ながらの本格的な仕事を直接習えたのは貴重な機会でした。」と橋本さん。

「地域の皆様と地元の自然を再発見」
12月9日
杉原薫氏（つくば市ジオパーク室）
猪瀬愛子氏（絵手紙教室代表）
1月20日
高野瀬一晃氏
（ソニー教育財団理事長）
2月17日
嶋田麻紀氏（俳誌「麻」主催）
3月10日
福島県被災地研修
「被災地域の復興状況視察」
場所 美六山荘（白井2052の1）
問合せ 神郡塾
（株式会社坂東太郎本体内） 0280-93-0180



橋本千菜美
はしもとちなみ
京都府出身、筑波
大学卒業後、笠間
市の鈴木繁氏竹細
工を学ぶ。
筑波山麓在住。



うる丈夫な製品、大きな製品の需要は減り、日常生活の中で使えるものでかつ繊細な模様、竹の質感を楽しめるものへと変化してきているようだ。橋本さんは「これで大丈夫なのか、もっと強くした方が良いんじゃないか、とアドバイスを受けることもありますが、先生から学んだ基礎的な技術を高めつつも、彫刻で培った造形やシルエットにこだわったこれまでにない竹細工を手掛けていきたい」と、女性ならではの視点で作品づくりに取り組み、手掛けたブローチなどのアクセサリを展示会で販売し、好評を得ている。こんな風に作り手と共に柔軟に変化することが出来るのも竹の魅力かもしれない。今後の活躍が楽しみだ。

地域の情報

● 筑波山梅林あずまの 葺き替え工事

筑波山梅林は梅まつり（2～3月）の最盛期には多くの人が訪れる筑波山の観光名所である。4.5ヘクタールと広い敷地の斜面には、梅の他にも巨岩が点在し、筑波山ならではの力強い風景が楽しめる。その他にも休憩所や展望台があるが、高台にある茅葺きのあずまやは、梅林とあたり一面を見渡すことができる人気スポットである。

あずまやまでの道中の坂道は、傾斜がきつい、その分梅の花と人との距離が近く、その香りを間近で楽しむことができる。あずまやからは梅林全体を見渡せるので、梅の花の広がりを上からも一度楽しめる。このあずまやは2002年に竣工し、16年ぶりに屋



(上) 竹篋巻きで「グシ」（茅屋根の棟部分）をおさめるのが筑波流。

(下) 「グシ」正面の「キリトメ」にハサミで切り込まれた『寿』の文字。（写真右）



根の丸葺き（全面葺きかえ）を行っている。私が訪れた10月9日は、80代の茅葺職人の親方廣山美佐雄さんとお弟子さん3名によってグシと呼ばれる屋根の棟（ムネ）の部位が仕上げられていた。その後、ハサミで全体が刈り込まれるので、間もなく完成である。

関東平野を眺望できるこのあずまやからは、空気の澄み渡る冬期には、富士山もはっきりと確認できる。梅まつり期間中は交通渋滞がおきるほど賑わうので、年末年始のまだ空いている時期に葺き替えたばかりの黄金色の屋根と景色を一足先に楽しむことはいかがだろうか。おすすめは蠟梅が香る12月末である。（文・安藤慧）

山麓インフォメーション
秋冬編 10月～3月

● 筑波山麓秋祭り 10月20日（土）・21日（日）・27日（土）・28日（日）
11月1日（木）～4日（日）

編集後記

筑波山のふもと「すそみ」では、最近、個性豊かな若い人たちの活動が目立ちます。地域の活性化は、古きよきものも柔軟に対応する心持ちによるのではと思います。「すそみ」を愛する人々が、様々に関わり、楽しみながら地域を盛り立てていきましょう。どうぞ参加ください。
編集長 田中ひとみ

すそみろく vol.39 2018 年秋冬号

発行日 2018年10月25日
編集 すそみろく編集部
イラスト 小沢陽子
発行 筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会
〒300-4231 茨城県つくば市北条 184
電話・ファクス：029-867-1083
メール：info@tsukuba-gt.sakura.ne.jp
HP：http://tsukuba-gt.sakura.ne.jp/

すそみろくは筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会の機関紙です。「すそみ」とは筑波山のふもとを指し、この地域の魅力を皆さんにお伝えすることをめざしています。「筑波山麓のココが好き！」など皆さんの情報もお待ちしております。一緒に活動する会員やサポーターも募集しています！

筑波山麓の情報がいっぱいあったすそみろくのバックナンバーを下記のHPにて公開しております！

「すそみろく」で検索！

創刊号～第29号は「つくば環境フォーラム」HP内

第32号～最新号は「筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会」HP内



筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会のHPはコチラ <http://www.tsukuba-gt.sakura.ne.jp/>

ページもチェックしてね。